

\\ 10分でわかる！ //

2024年9月IAASBボード会議

【説明者】

井坂 久仁子（当協会研究員）

辻 安紀子（当協会研究員）



IAASBのスケジュール（2023年～2025年）

サステナビリティ保証は
別動画参照！

プロジェクト名	2023年				2024年				2025年				
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	
継続企業（ISA 570）	ED	→						★承認	承認	PIOB			
サステナビリティ保証（ISSA 5000）		ED	→					★承認	PIOB				
テクノロジー・ポジション					情報収集	→		★承認					
監査証拠（ISA 500）*	→				休止								
統合プロジェクトーリスク対応				→	情報収集	→		★承認	PP	→		ED	→
不正（ISA 240）				ED	→						承認	PIOB	
上場企業及び PIE（社会的影響度の高い事業体）	トラック1	承認	PIOB										
	トラック2			ED	→			★承認	承認	PIOB			

PP: プロジェクト・プロポーザルの承認予定 ED: IAASBボードでの公開草案の承認予定 承認: IAASBボードでの最終承認予定

PIOB: 公益監視委員会（PIOB）による最終承認予定

*: 監査証拠のプロジェクトはリスク対応と合わせた統合プロジェクトの一部として対応されることになった。

継続企業

プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正及び継続企業に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている。

2024年9月ボード会議の審議概要

- 公開草案に対するコメントのうち、以下の項目の対応案について議論が行われた。
 - ▶ 適用の柔軟性
 - ▶ 経営者による継続企業の評価の検討
 - ▶ 経営者の対応策
 - ▶ 公的部門への考慮
 - ▶ 文書化

タイムライン

2022年3月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年6月：ボード審議

2022年9月：ボード審議

2022年12月：ボード審議

2023年3月

公開草案承認

公開草案の公表：2023年4月26日
コメント期限：2023年8月24日

2024年3月：ボード審議

2024年6月：ボード審議

★ 2024年9月：ボード審議



2024年12月

最終基準承認予定

プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正及び継続企業に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている
- ISA240により強固な要求事項を確立し、適用指針での明確化を図ることで、財務諸表における不正に対する監査人の役割と責任を明確化し、職業的懐疑心のより適切な行使の重要性を強調するとともに、TCWG(※)とのコミュニケーションの強化や監査報告書のKAMでの取扱いを検討する。

2024年9月ボード会議の審議概要

- 公開草案に寄せられたコメントのうち主要なテーマについて、タスクフォースの見解と提言が示され、議論が行われた。
 - ▶ 財務諸表監査における不正に関する監査人の責任
 - ▶ リスクの識別と評価
 - ▶ 不正又は不正の疑い
 - ▶ 監査報告書における不正に関する責任と手続の透明性

タイムライン

2021年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年3月～2023年9月：ボード審議

2023年12月

公開草案承認

公開草案の公表：2024年2月6日
 コメント期限：2024年6月5日



2024年9月：ボード審議



2025年3月

最終基準承認予定

上場企業とPIE（社会的影響度の高い事業体）

プロジェクトの概要

- 国際会計士倫理基準審議会（IESBA）の「職業会計士のための国際倫理規程（国際独立性基準を含む。）」（IESBA Code）における社会的影響度の高い事業体（Public Interest Entity：PIE）及び「上場企業（Listed Entity）/公に取引されている事業体（Publicly Traded Entity）」という用語の改訂を受けた対応である。
- **トラック2**：上記用語の定義について、改訂IESBA Code上の定義とISAs及びISQMs上の定義の最大限の収斂を図り、ISAs及びISQMsにおいて、PIE等に対する追加の要求事項の適用範囲を検討する。

- PIEとして取り扱うべき事業体の決定における、IAASB提案とIESBA PIE改訂で乖離の可能性が示されたため、PIE（トラック2）のプロジェクトを進めるための2つの選択肢について議論が行われた。

- ▶ **Option1**：PTE（Publicly Traded Entity）にのみ適用拡大
- ▶ **Option2**：IESBAの解釈に沿ったかたちで、PIEを定義したうえで、PIEに適用拡大

タイムライン

2022年3月：プロジェクト・プロポーザル承認

トラック2

2022年12月：ボード審議

2023年12月 公開草案承認

公開草案の公表：2024年1月8日
コメント期限：2024年4月8日

★ 2024年9月：ボード審議

2024年12月 最終基準承認予定

（参考：トラック1）

【解説記事】PIEに対する独立性に関する要求事項を適用している場合に開示を要求する IESBA 倫理規程の改訂に伴う狭い範囲の改訂（ISA 700・ISA 260）（JICPA作成）
https://jicpa.or.jp/specialized_field/20240215agt.html

テクノロジー・ポジション

プロジェクトの概要

- 「2024年から2027年の戦略及び作業計画」において、テクノロジーによる影響についてIAASBの基準でどのように対処していくのかに関するIAASBの全体方針（テクノロジー・ポジション）を設定するためのプロジェクトの2024年上期開始が明示されたことによる。

2024年9月ボード会議の審議概要

- テクノロジー・ポジションの最終化が審議された。
- テクノロジー・ポジションは、ボードメンバー18名中、17名の賛成、1名の反対で承認され、10月3日に公表された。
- テクノロジー・ポジションを運用するためのGAP Analysisにおいて、今後テクノロジーの検討対象とすべき基準について議論が行われた。

タイムライン

2024年3月：情報収集

2024年6月：ボード審議



2024年9月 テクノロジー・ポジションの承認



〈テクノロジー・ポジションの構成要素〉

- 構成要素1：
テクノロジー・ポジション・ステートメント
- 構成要素2：
テクノロジー・ポジション・ステートメントの運用
- 構成要素3：
テクノロジー・ポジションのモニタリングと適応

統合プロジェクトーリスク対応・監査証拠

プロジェクトの概要

- ISA 500「監査証拠」改訂公開草案に対するコメント等を踏まえ「2024年から2027年の戦略及び作業計画」において、監査証拠及びリスク対応に関する統合プロジェクトの開始が明示された。現在は、プロポーザル・プロポーザルの承認に向けた審議が行われている。

2024年9月ボード会議の審議概要

▶ 開発アプローチの選択肢⇒オプション2を選択

- オプション1：「ハイブリッド」なプロジェクト・プロポーザル
⇒ 既に承認された監査証拠プロジェクト・プロポーザル（2020年12月）を相互参照し、以下の2つの構成要素を含める。
- ▶ 構成要素1：ISA 330*及びISA 520** 特有の目的、課題、対応措置
 - ▶ 構成要素2：ISA 500、ISA 330及びISA 520に共通の目的及び影響を与える課題

オプション2：完全に「統合」したプロジェクト・プロポーザル

- ⇒ ISA 500を改訂するプロジェクト・プロポーザルの公共の利益目的の進化と拡大を描写し、ISA 500、ISA 330及びISA 520を同時に改訂することで、「参照フレームワーク」（ISA 500）と「パフォーマンス（手続実施）」（ISA 330, ISA 520）の両方の側面に影響を与える課題に対応する。

タイムライン

2024年3月：情報収集

★ 2024年9月：ボード審議



2024年12月：プロジェクト・プロポーザル承認目標

2025年9月 公開草案承認目標

2026年12月 最終基準IAASB承認目標

* ISA 520「分析的手続」

** ISA 330「評価したリスクへの監査人の対応」

監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組

[ホーム](#) > [協会について](#) > [協会の活動](#) > [監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組](#)

監査

監査以外の保証業務及びAUP

国際監査・保証基準

解説動画等

ワークプラン及び適用スケジュール

公開草案等へのコメント



サステナビリティ～保証・開示・能力開発～

公認会計士とは 専門情報 一般企業の方へ ニュース 協会について

サステナビリティ

保証 開示 能力開発

会員・準会員の方へ 公認会計士に興味のある方へ 一般企業の方へ (経理部・監査役の方等)

国内外のサステナビリティ開示
・保証に関する情報や
当協会の能力開発に関する情報を
紹介！
当協会ウェブサイトの[トップページ](#)
からアクセスいただけます！



●● 信頼の力を未来へ
jicpa

 日本公認会計士協会